

令和5年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立大森東中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ICT 機器を活用し、説明、指示を効率よく行うことができた。
- ・美術活動に対して意欲的で積極的な生徒が多い。
- ・安全に授業が受けられるように環境整備を徹底している。

(2) 課題

- ・限られた時間の中で発想を広げられるような導入や指示を意識する。
- ・進度の異なる生徒には声掛けを行い、見通しをもって活動できるようにする。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年			
第2学年		(第1学年時)	
第3学年		(第2学年時)	(第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
道具の使い方や、制作の流れ、技法についてICT機器を活用した。制作中にも書画カメラを用い、実際の手の動きや見本などをこまめに提示し、生徒の理解度や制作の進み具合が向上した。	色彩の学習を通して、身の回りのポスターや標示、企業のロゴなど様々なことに関わっていることを学んだ。制作時の色合わせに役立てることができた。ICT機器を活用し、指示や目的を明確にし、見通しをもって制作に取り組むことができた。	美術が何を学ぶ教科かという目的をしっかりと理解しようとし、集中して活動できた。発言や発表する場面では、明るく活気のある雰囲気の中で、主体的に意欲をもって発表することができた。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
絵画の技法を正しく学習し、制作に活かすことができた。ICT機器を活用し、指示や目的を明確にすることで見通しをもって制作に取り組むことができた。	モダン技法を通して、偶然できた模様からイメージを膨らませ、表現活動を豊かに発展させることができた。ICT機器を活用し、指示や目的を明確にすることで見通しをもって制作に取り組んだ。	チャイム着席や話を聞く態度、制作姿勢などの授業規律において、集中力不足の生徒への指導、支援が必要である。発言する場面では、明るい雰囲気の中で、主体的に発表することができた。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
見通しをもって計画的に取り組むことができた。ステップアップしていく課題を活用し、丁寧な描写や技法を工夫して表現することができた。	決まったテーマの中で自由に表現することができた。生き物から発想を広げ、オリジナルキャラクターをデザインすることができた。	意欲的に活動することができた。課題に対して自分なりのこだわりをもって向き合うことができた。自ら進んで課題解決に向けて取り組めた。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
色の学習を通して、日常生活と密接な色の結びつきを知り、創造的な表現ができるようにする。	発想シートを取り入れ、自己の分析や発想のきっかけを作り、美術に対する見方や感じ方を深められるようにする。	課題解決に向けて、試行錯誤し、納得のいく作品に仕上げることの大切さを意識させた。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
制作時間内に見通しをもって計画的に取り組めるよう、指導や手順を視覚化し、理解度を深めさせる。	制作における条件や決まりの中で、最大限の自己表現をしていくことの大切さを身に付けさせる。	課題解決に向けて完成まで計画的に取り組ませる。一人ひとりの個性を大切に発揮できるように働きかける。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
限られた制作時間の中で、目的をより明確化し、全体で課題解決できるよう取り組ませる。	発想が浮かばない生徒に対して、書画カメラを活用し、実演や参考資料の提示種類を増やし、活用させる。	自分の意見を他者と伝え合う言語活動においても、一層の活発化をうながす。